

わたしたちの町

人口(男) … 4,584人
(女) … 4,902人
合計 … 9,486人
10月中の転入 … 17人
転出 … 15人
世帯数 … 2,313世帯

(10月末住民登録調べ)

広 報

あいかわ

昭和58年11月26日 第306号 秋田県合川町 編集 総務課 電話 018678-2111

広報は、中学校生徒会に委託して各家庭に配布しています。(発行予定日毎月20日) 広報への意見や話題などをお知らせください。

'83/ 11月

306号

「わたし、むしばなしよ」 春には小学1年生



就学予定児童

来春、小学校一年生になる児童の健康診断が十一月十六日から各小学校で始まりました。上半身はだかになったチビ子たちが、お母さんたちに付きそわれてお医者さん(森川先生)の前に整列。「アーンと口をあけて」「はい、背中をむけて」の声にやさしく緊張をほぐして。お母さんたちの心配そうなまなざしを受けていました。

各保育園では来月上旬に「発表会」を計画。おゆうぎ、演劇など楽しい催しにむけて計画がなされています。保育園の「おにいさん」「おねえさん」たちも、この日は「心」が春の入学式に飛んでいるようです。友だち同志で、一年生になる夢を語り合うほほえましい姿も見られました。

来春の一年生は東小学校五十九名、西小学校二十五名、南小学校十五名、北小学校三十名の予定です。

健康審査

農業の明日をめざして

新農業構造改善事業スタート

水田再編の第三期対策の内容が明らかになり、稲作以外の農業の確立が急がれています。そのため稲作の省力化の要望も強くなっています。そうした方向に向けて新農業構造改善事業と合川地区県営土地改良総合整備事業の各工事がスタートしました。

ガラス温室

五棟に着手

新農業構造改善事業(略称「新農構」)では生産施設、流通貯蔵施設、運動広場、指導施設などの整備を計画。昭和六十二年度までの五カ年間の総事業費は約八億円(国補助五〇%)と見込まれています。

そのうち初年度事業として、大野台施設園芸組合(会長「藤島伸一さん・木戸石」)がガラス温室五棟の建築に着手しました。弥栄地内の二百坪の温室は九月下旬に着工。来春二月には完成の予定です。植え付け準備に入っています。

八幡岱集会所施設

喜びの完成

町が新農業構造改善事業で建築をすすめていた八幡岱集会所施設が完成しました。敷地面積三千八百平方メートル。工事費二千六百十五万円。研修室など三室三十三間。調理室など明るく近代的なスタイルが、目をひいています。

十月三十日、喜びの竣工式典が行われました。

土地改良総合事業

南地区から着手

土地改良総合整備事業は土地改良区が事業主体となつての用水路、排水路の舗装や客土、排



写真右側大野台に建設がすすむガラス温室
上地域活動の拠点、八幡岱集会所施設



新 米

新米で切りたんぼ——各家庭の収穫祝いには終わりましたでしょうか。稲の収穫が終わっても、転作大豆の収穫、来春にむけての作業などあまたしい毎日が続いている人も多いことでしょう。

新米といっても、お米を買って食べる人がふえ、電気炊飯器が普及したためか、季節感も薄くなっているようです。むしろ、新米社員といった人をさす言葉としてのイメージが強くなっているといえます。しかし、ふるさとを離れている人にとっては、おいしい新米への思いが、たいへん強いそうです。

新米の水かげんは普通米より少なめにするのが、おいしく炊き上げるコツとか。ともあれアメリカでは日本食が「健康食」として人気を集めているといえますから、もつと米の良さを見直す必要がありそうです。

贈り物には、おいしい「合川米」を贈りましょう。



交通事故続発——「注意を!!」

十一月に入り、県内では毎日のように死亡事故が発生しています。これから、さらにスリップ事故などの発生しやすい季節を迎えます。家庭から、地域から「無事故」を徹底しましょう。

年末の安全運動 十二月一日〜十日
十二月は飲酒運転追放特別月間です。

町長日記から

産業文化祭も第八回となり、年々、充実した出陣や行事が持たれ、町民の新鋭感謝の気持ちと年間の反省、そして明日への活力の視点をとらえる大行事となった。

それにしても町民体育館を主軸とする健康広場の四つの施設の活用は、町内外の行事が催されて、いかなる外交手段よりも合川町の社会的地位を高める拠点となってきた。

昔から「時」と「場」と「人」の組み合わせが、町の発展の原動力となってきた。そのうち「場」は、人々が深くつめて、その存在を認識することが割に少ない。そのため「場」は「慣れ」となり「定住」は進歩と「新しい視点」を展くことにならないうまくない人間が立っている「場」をよくつめることが、生きる原点、新しい発想、変わることをのびる人間情を育むものと思う。

活力に満ちた郷土に 稔る秋豊かに

新体育館を主会場に——第8回産業文化祭開く



健康広場いっばいに響く
“大いなる秋田”の歌声

小中学生と参観者が一体になって
ステージ部門の幕明け（上段二枚）



↑人ごみの中に一服のやすらぎを提供してく
れた大野台の里コーナー茶室。



→中国からの研修生が本場のギ
ョウザづくり教室（営農大学
校コーナー）。
←専門分野を興味あふれる内容で紹介し、今年も展示
部門賞を受けた林業コーナー。



↑「わあ、おいしそう！」アイデア料
理の展示に思わず歓声。



→客席が待ち切れない食堂部。
農協婦人部の皆さんは大忙し。

→農産展示、即売コーナー。熱心な視
線に活発な売り声が響く。



火災予防運動

十一月三日から秋の火災予
防運動が行われました。
町消防団では川井部落を発
火地点に想定して防火訓練を
実施。発煙灯の合図で、各地
区から団員がかけつけ、消火
訓練を行いました。
消防団では「これからが建
物火災のふえる季節」と火災
予防の徹底を呼びかけていま
す。

県内の過去三年間の火災原
因のトップはストーブ。次い
で②タバコ ③風呂かまど
④こんろ ⑤煙突の順になっ
ており、燃焼器具によるもの
が上位をしめています。
また、冬期間の避難口と防
火用水の点検もお忘れなく。
消火栓などの除雪は近くの人

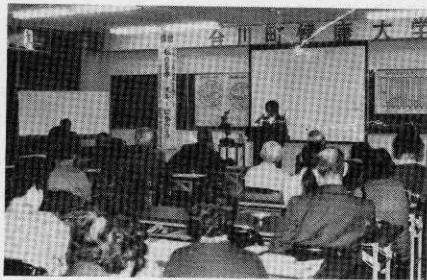


防火用水の点検を

たちで行い、どうしても手が
回らない場合は、消防団に相
談ください。
点検は防火のはじまりし
めくり。一人ひとりの細
かい注意が必要です。

健康大学

第三回健康大学は十一月十
八日、保健センターで開かれ
ました。
講師は鷹巣町奈良良奈良
正人先生と米内沢高校スキー
部監督戸島淳子先生。奈良先
生は当町の病気を統計的に分
析してその対策を講演。戸島
先生はスキーにかけてきた情
熱を語り、心をうちました。
奈良先生からは▽脳卒中の
発症年齢があがってきており
予防運動の成果と見られる。
▽「あたる」人は未検者が多
く、若い年齢からの心がけが
大切だ。▽精神的なストレス
も「あたる」原因になる。▽
検診による早期発見は、
なお確率が高い。▽タバコ
は周囲の人も同じく悪い悪影



響を受ける。▽「健康食品」
でもかたよった食事はだめ。
手を加えた自然のものを食べ
たい。▽時間外の診断、乱受
診など医療費のムダ使いはさ
けるように——などのアドバ
イスがありました。
次回健康大学は十二月十五
日の予定です。

ガンは怖くない

産業文化祭記念合川町駅伝

川井チーム

連続優勝

産業文化祭にあわせて開かれていた町駅伝大会は十三日、杉山田から町民健康広場までのコースで行われました。

第三回の今年の大会には部落九チーム五十四選手と中学生らが参加。健脚を競い合いました。第一区間では大野台がトップを走り、次いで川井・上杉・鎌沢が追走し大接戦。結局、二区



・三区・五区・六区で区間首位をとった川井チームが昨年に続いて優勝しました。
②大野台 ③上杉 ④木戸石

第1回 女子駅伝は四位入賞

同日、米内沢・合川・鷹巣コースでは第一回女子駅伝(阿仁鷹巣駅)が開かれました。柴田初江さん、三浦悦子さん、阿部美智子さん(以上合川高校)工藤厚子さん(米内沢高校)阿部澄子さん(合川町農協)の当町チームは沿道の大応援の中を力走し、四位に入賞しました。また阿部澄子さんは十一月二十日の全県女子選手権大会五キロ競技で社会人選手として最高位の十三位に入賞しています。

わが家のわたしの宝もの²⁴

県知事賞のキク

専門化に夢ふくらませ



三里 松橋忠雄さん

大館市で開かれた第106回県種苗交換会に出品した松橋さんの切花・キクが県知事賞を受賞しました。「複合経営をめざして野菜や花をやっている農家に手伝いについて技術を学んできました。始めはきゅうりを主に取り組んだのですが、やってみてキクの魅力にひかれて、キクづくりは6年目です。おりから水田再編対策の進行もあって松橋さんのハウスは地域の注目と期待をあつめてきました。

「市場の目は厳しくて、ちよつとのすきも許されません。病気をつけないように、花の品質を落とさないように、ひまなく手をかけています。『そうした苦勞の“作品”を見る楽しみは、花作りならではのようです。』「自分で思いどおりに花をつくっていくのが、一番の楽しみです。相場は白が高い時、赤が高い時といろいろですが、自信のあるものをつくっていれば平均的な収入に結びつくと思います。松橋さんの熱意が市場での評価につながり、県知事賞につながったものでしょう。『以前は稲作との複合経営ということとががんばってききましたが、専門でないと良いものは作れないのではないかと考えています。これからは、その方向で構想をたてています。』キクづくりは気のぬけない手作業が多いため、家族が力をあわせることが大切—とも語ってくれました。「キクの新品種は競争が激しく、かすみ草などの別の花にも取り組んでいます。松橋さんの夢は、さらに大きくふくらんでいます。

「市場の目は厳しくて、ちよつとのすきも許されません。病気をつけないように、花の品質を落とさないように、ひまなく手をかけています。『そうした苦勞の“作品”を見る楽しみは、花作りならではのようです。』「自分で思いどおりに花をつくっていくのが、一番の楽しみです。相場は白が高い時、赤が高い時といろいろですが、自信のあるものをつくっていれば平均的な収入に結びつくと思います。松橋さんの熱意が市場での評価につながり、県知事賞につながったものでしょう。『以前は稲作との複合経営ということとががんばってききましたが、専門でないと良いものは作れないのではないかと考えています。これからは、その方向で構想をたてています。』キクづくりは気のぬけない手作業が多いため、家族が力をあわせることが大切—とも語ってくれました。「キクの新品種は競争が激しく、かすみ草などの別の花にも取り組んでいます。松橋さんの夢は、さらに大きくふくらんでいます。

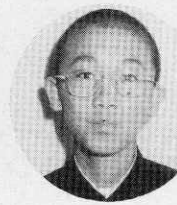
人形劇

フェスティバル

▽十二月四日(日)午前十時、午後二時、二回公演
▽会場 農村環境改善センター
▽人形劇団 サンタラボッチ
他が主演 子どもからお年寄りにまで親しまれる人形劇の数々を、家族みんなで楽しんでください。
▽高校一般六百円 △小学生三百円 △園児年令百円



なまはげがニコリ笑って助け合い12月歳末助け合い運動がはじまります。



十月の寒い日が続いた、ある夜の事です。僕は父に頼んで、石油ストーブを出してもらい、部屋を暖め、気分よく勉強していたつもりでした。ところが、突然「徹、おい、起きろ。」という父の大声で目が覚めました。びっくりして起き上がりません。父は「何の事かおぼろげに僕にきかまわす、すぐにストーブを消し、ふるえる声で、こう言いました。

防火は自分の心がけ一つで

合川中学校一年生 藤 徹くん

のした事だからと、身を小さくしてしまいました。「今迄、火災について真剣に考えた経験がなかったのですが、この時程、恐ろしいと思った事はありません。これを機会に、今後絶対に、こういうストーブの消し忘れをやらないぞと心に誓ったのです。

大館北秋田防火弁論大会準優勝

トープつけばなしにして」と、びくつきした声でさげびました。僕は勉強の途中で眠り込んでしまったのです。火災については、口うるさい父の、突然「徹、おい、起きろ。」という父の大声で目が覚めました。びっくりして起き上がりません。父は「何の事かおぼろげに僕にきかまわす、すぐにストーブを消し、ふるえる声で、こう言いました。



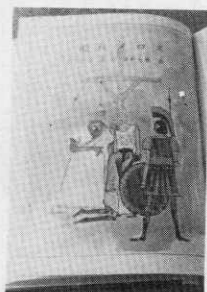
一冊の本

「走れ、メロス」

合川西小学校五年 伊島英恵さん



どうしてメロスは走り続けたのでしょうか。水を飲みたくてもがまんをし、つかれきつても休むことなく、ただ王様との約束の時間に間に合うためだけに、という強い願いをたよりにして。王という名前を借りて、次々と人を不幸に落とし入れ、人の心をうたがうことだけが残っていない王。孤独な王。かわいそうな王。人をうたがうことを



「走れ、メロス」と、心の中で私は、さげびました。人を信じてることを忘れていた王も、命がけでみせてくれたこの二人の行動から、また人を愛する心がわいてきました。私も人を信じることを大切にしたいのです。メロスに一言。「平和な国になてよかったメロス。」

米倉議長・南小学校に

県知事表彰

十一月一日に行われた秋田県交通安全大会で米倉議長(町議会議員)と合川南小学校交通安全推進隊に県知事表彰が贈られました。米倉議長は十年以上にわたって交通安全協会支部長として各種活動に尽力。南小学校交通安全推進隊は校内ばかりでなく地域の交通安全の呼びかけなどの活動が称讃されたものです。

三氏に防犯表彰

地域の防犯活動の功労者として小田慶一氏(木戸石)に県警本部長表彰、斉藤定一氏(新田目)と中沢鉄蔵氏(駅前)に阿仁部防犯連合表彰が贈られました。三氏は防犯連絡所の永年の活動が認められたものです。

除雪の季節です

路上駐車は絶対にやめましょう

道路に雪をすてないでください

善意のご寄付

私達中学生が、先に立って防火意識を持ち、自分達で出来る事を考え、心がけ一つで防げるのだという認識を高め上げようではありませんか。そして、一件の火事すら出ないわがふるさとにしたい(紙面の都合で一部省略させていただきます)

善意のご寄付

- (敬称略) (香典返しにかえて)
- 中田光雄 西根田(故妻キエ)
 - 桜田龍治 東根田(故妻サナ)
 - 桜田昭一 季 信(故妻アイ子)
 - 木村与志男 李信(故妻フヨ)
 - 鈴木吉二 羽根山(故父文太郎)
 - 工藤進 千葉市小仲台町八三
 - 公務員住宅内(故父 雄二)
 - 細田サミ 駅前(故夫 三郎)
 - (一般寄付) 小笠原洋品店
 - (広報郵送料として)
 - 横須賀市三春町五十一 杉三三之助
 - 水戸市石川一丁目四〇二二 成田 啓五
 - 上尾市平塚二〇二五 平塚団地 藤島喜八郎
 - 松岡重弥 公義二女 羽根山
 - 金田重美 清美二女 西根田
 - 松岡咲子 保弘二女 羽根山
 - 小笠原美香 弘職二女 美 栄
 - 桜田和子 一成長男 木戸石
 - 米倉道和 雄治長男 上 杉
 - 山田大介 次夫長男 木戸石
 - 謹んでおくり上げます
 - 鈴木文太郎 吉三 父 羽根山
 - 細田三郎 本人 駅前

慶弔だより

10月届